



平成 30 年度 CSR – NPO 未来交流会 組織連携による社会イノベーション活動事例

- 開催日:平成 30 年年 7 月 19 日 (木)
- 開催場所:東京都千代田区麹町 5 – 1 弘済会館 4F (萩)
- 参加団体:27 団体、38 名

組織連携による社会イノベーション活動として、企業、NPO、行政の異なる組織形態による協創・連携事例の研究を主眼に CSR – NPO 未来交流会 2018 を開催いたしました。

日立 IT エコ実験村

今回は企業からの組織連携を中心に講演を行っていただきました。さまざま側面を捉えることができるインフォメーション・テクノロジーなどを活用し、変化し続ける環境・生産方法な



どを捉えたデータ蓄積・活用が、今や足元で起こっていることが実感できる事例の紹介です。

参照サイト：<http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/geoaction100/iteco/index.html>

プロボノのススメ

企業組織の経験値を積み重ねた企業内個人がその知見の活用に取り組んでいるプロボノ活動について講演をいただきました。

参照サイト：<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/probono.html>

パナソニックグループ社員の仕事で培ったスキルや経験をさらに広く社会の中でお役に立て、社会課題の解決に取り組む NPO の事業展開力強化を応援している Panasonic NPO サポート プロボノ プログラムがあります。



何れの講演もさらに進展を深めるグローバル社会を視野にいれ、これからの組織・団体・企業が活動する際の SDGs :「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) を捉えています。具



体的な行動としての形を作っていくことが問われる時代になり同時に、その活動と共に相互連携の重要性を示す交流会となりました。

講演- 2 → Panasonic プロボノの講演



また、教育と探求社からは、変化する教育の取り組みのについて、組織連携を図りながら実践している現状の姿を講演いただきました。現実社会を題材に「生きる力」を育む教育プログラムです。

参照サイト：http://eduq.jp/quest_education/

第II部の情報交流

第II部の情報交流では、グループを二つに分かれてセッションを行いました。所属組織・団体の紹介からスタートし、名刺交換をおこない、一対一でのコミュニケーションが生まれ、わずかな時間でしたが、有効な時間を過ごして頂きました。

◆ プログラム

I部 協創・連携による社会イノベーション 13：10～14：25

	主催者挨拶	東京湾再生官民連携フォーラム 議長 来生 新
講演- 1	「 SATOYAMA の恵みを次の世代へ 日立 IT エコ実験村の取り組み 」	株式会社日立製作所システム&サービス ビジネス統括本部環境推進本部 本部長、 ITエコ実験村 村長：出居 昭男
講演- 2	「 ～NPO と企業の協働～ プロボノのススメ 」	パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 事業推進課 主幹：東郷 琴子
講演- 3	「 NPO リーダー向け探求型研修 プログラムの提供 」	教育と探求社 教育ソリューション事業部長/ シニアマネージャー：古川 美幸

II部 情報交流会 14：40～16：20

情報交流会	
モデレーター	中島 正雄：東京湾再生官民連携フォーラム 間瀬 範幸：東京湾再生官民連携フォーラム
2つのグループに分かれ、モデレーターが交流の進行をお手伝い。	



- ◆2つのグループに分かれ、モデレーターが、企業と団体・NPO組織と企業の交流をお手伝い。熱心な情報交換が行われました。

自己紹介カード(参加者用)

○あなたについて 名前 勤務先	★あなたの生まれたところとその良いところ
◇最近気になること	◎今日の交流会に期待すること

今日の気分を色にととると？

Ⅱ部 情報交流会にあたり、左記の自己紹介シートを活用して、参加者の相互理解を早め、意見交換討議の進展の糸口として、スタートしました。ちなみにあまりに暑いので、今日の気分の色は、赤の暖色系が多かったです。

情報交流会の
グループ分けの様子 →



CSR-NPO未来交流会では、多様な交流を目指して、さらに連携ができるようにサポートしていきます。